

日中防災減災ハイレベル研究者交流会について

2020年1月
防災科研国際課

JSTの「さくらサイエンスプラン」に対応し、中国政府は日本の科学技術に関わる関係者を中国に招へいするプログラムを行っており、この一環として、防災減災分野に特化した日中ハイレベル研究者交流会2019が中国・成都及び北京で開催された。

○日時 2019年10月14日（月）～18日（金） 於：中国・成都、北京（*）

*当初の予定では、10月12日から深圳、成都及び北京で開催予定であったが、台風19号の影響で日本側の出発が遅れたため、予定を短縮し、14日から成都及び北京で開催。

○参加者

（日本）防災科研・林理事長、ICHARM・岡田シニアフェロー、東北大学・小野教授
国立環境研・春日特任フェロー、東大地震研・瀨瀨教授、
JST・米山副センター長、周フェロー 等
（中国）中国科学院、北京師範大学、上海師範大学等からの教授クラス

○会議、視察の行程

15日 今後の日中協力に関する意見交換会 （成都）
16日 四川大地震被災地等の視察 （成都）
17日 国家減災センター、国家気象センター等の視察 （北京）
18日 北京師範大学応急管理部の視察、取りまとめの報告会 （北京）

○日中防災減災ハイレベル研究者交流会2020の開催

最終日の報告会では、翌年4月に、中国側が日本を訪問し、日本の防災減災の知見について学ぶ日中ハイレベル研究者交流会を開催することが議論され、参加者の間で合意された。現時点での中国側の意向は以下の通り。（参加者は未定）

- ・ 訪日期間 4月19日～23日
- ・ 訪問希望機関 東北大 IRIDeS、防災科研、ICHARM、東大地震研
- ・ 東日本大震災被災地への視察
- ・ 防災減災関連セミナーの開催（東京都内）